



The 2nd Cello Day

第2回 チェロの日

日本チェロ協会が贈るチェロ好きのための2日間

2012年2月11日[土]・12日[日]

サントリーホール ブルーローズ

プログラム

2/11 SAT 13:00

チェロ・リレー・コンサート I

ベートーヴェン:チェロソナタ第3番 イ長調 op.69
[ルドヴィート・カンタ | チェロ 鶴見 彩 | ピアノ]

フランク:チェロソナタ イ長調
[山本祐ノ介 | チェロ 小山京子 | ピアノ]

マルティヌー:チェロソナタ第2番
[西谷牧人 | チェロ 野田清隆 | ピアノ]

ブラームス:チェロソナタ第2番 ヘ長調 op.99
[菅野博文 | チェロ 南部麻里 | ピアノ]

2/11 SAT 18:00

チェロ・リレー・コンサート II

シューベルト:アルペジオーネソナタ イ短調 D.821
[新倉 瞳 | チェロ 柘植涼子 | ピアノ]

ラフマニノフ:チェロソナタ ト短調 op.19
[植木昭雄 | チェロ 佐藤勝重 | ピアノ]

ショスタコーヴィチ:チェロとピアノのためのソナタ ニ短調 op.40
[林 俊昭 | チェロ 林 由香子 | ピアノ]

ブラームス:チェロソナタ第1番ホ短調 op.38
[向山佳絵子 | チェロ 林 絵里 | ピアノ]

The 2nd CelloDay

2/12 SUN 12:30

チェリストの集い

I. マスタークラス

[講師 | ルイス・クラレット]

II. オーケストラ・スタディ

[指導 | 幸田有哉]

III. 全体アンサンブル

[演奏 | 約70名のチェリストたち+山本祐ノ介(指揮)]

カザルス | サルダーナ、C. ガルデル | 首の差で、カッチーニ | アベ・マリア、サティ | ジェ・トゥ・ヴ





ルドヴィート・カンタ [Vc]
スロヴァキア出身。プラハ音楽アカデミー卒業。数々のコンクールで上位入賞を果たし、アカデミー在学中に、スロヴァキア・フィルの第1ソロチェリストに就任。1990年よりオーケストラ・アンサンブル金沢首席チェロ奏者。2011年には来日20周年を記念してマルティヌーのチェロ協奏曲第2番を日本初演と同時にドヴォルザークの協奏曲を演奏し大絶賛を浴びる。



鶴見 彩 [Pf]
東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了後、ドイツ学術交流会奨学生として渡独。カールスルーエ音楽大学に留学。同大学大学院ソリストコースを最優秀で修了。日本音楽コンクール第2位、E.ポリーノ国際ピアノコンクール第3位。東京藝術大学非常勤講師を経て、現在、愛知県立芸術大学音楽学部非常勤講師。



山本祐介 [Vc/Cond]
1963年東京生まれ。早くからピアノ、作曲を学ぶ。指揮を父・山本直純、初山和明、川本統脩の各氏に、チェロを斎藤建寛、堀江泰、R.フラショー、H.シャピロの各氏に師事。東京芸術大学卒業、同大学院を修了。第21回民音室内楽コンクール第1位入賞(ハレーストリングカルテットとして)。東京芸大附属高校講師、都立芸術高校講師、ハレーストリングカルテットチェロ奏者、芸大フィルハーモニア首席チェロ奏者、東京交響楽団首席チェロ奏者などを経て、現在ソロチェリストおよび指揮者として活躍している。近年は指揮者として京都市交響楽団、京都フィルなどに度々客演のほか、ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラや、各地のアマチュアオーケストラとの共演や指導の他、2011年6月には東京ニューフィルハーモニック管弦楽団の常任指揮者に就任した。



小山京子 [Pf]
ポーランド文化庁の奨学金を得てショパンアカデミーを卒業後、ミュンヘン国立音楽大学を最優秀賞で卒業。同マイスタークラスを修了。マリア・カナルス国際コンクール最高位、フィナーレ・リグレ国際ピアノコンクール第1位。J.スーク、A.マリオン、アドリアン、バルトーク弦楽四重奏団等と共演。



西谷牧人 [Vc]
東京芸術大学卒業及び同大学院修了後、米インディアナ大学に留学。これまでに河野文昭、堤剛、J.シュタルケルの各氏に師事。2005年帰国し、兵庫芸術文化センター管弦楽団に第1期生として入団。2008年4月より東京交響楽団首席チェロ奏者を務める傍ら、東京芸術大学の非常勤講師として後進の指導にも当たっている。



野田清隆 [Pf]
第64回日本音楽コンクール第1位。東京藝大大学院で博士号取得。尾高忠明、広上淳一、下野竜也らの指揮者、さらに室内楽でも漆原朝子、花崎 薫、高橋 敦らから共演を求められている。藝大ピアノ科及び室内楽科講師を経て、現在、東京学芸大学准教授ならびに東京音楽大学指揮科助手。東京クライスアンサンブルメンバー。



菅野博文 [Vc]
桐朋学園子供のための音楽教室で故齋藤秀雄氏に師事。その後、P.フルニエ氏、インディアナ大学でJ.シュタルケル氏に師事。日本音楽コンクール第1位、海外派遣選考会第1位、チャイコフスキー国際コンクール第3位など。ケンタッキー大助教授を経て、フィラデルフィアテンブル大学准教授に就任。現在、昭和音楽大学器楽部教授。



南部麻里 [Pf]
桐朋学園大学卒業、同研究科修了。94年、第10回神奈川音楽コンクール第3位。97年、第2回JILA音楽コンクール第1位。98年、東京にてソロリサイタル開催。北島公彦、加藤伸佳、野島稔、三上桂子の各氏に師事。2001年リスト音楽院に留学。帰国後は桐朋学園大学弦楽器囀託演奏員、昭和音楽大学伴奏非常勤講師を務める。



新倉 瞳 [Vc]
8歳よりチェロを始める。当時ドイツにて、ヤン・ヴィスリッキー氏に師事。11歳でチェロを毛利伯郎氏に師事。紀尾井ホールにてソロリサイタルデビュー、桐朋学園大学音楽学部卒業後、桐朋学園大学研究科で堤剛氏に師事。第5回ルーマニア国際音楽コンクール室内楽部門にて第1位。2010年よりパーゼル音楽院ソリストコースに入学、T.デメンガ氏に師事。



柘植涼子 [Pf]
10歳よりジュリアード音楽院プレカレッジに在籍。2002年、ヤングピアニストコンクール入賞。2003年日本クラシック音楽コンクール第5位。2004年、米ハイランズ・キャッシャーズ・ミュージックフェスティバルに招待される。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学卒業。室内楽を毛利伯郎氏、徳永二男氏に、ソロを三上桂子氏に師事。



植木昭雄 [Vc]
桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学、リヨン国立高等音楽院、インディアナ大学でチェロを学ぶ。日本室内楽コンクール入賞、日本音楽コンクールチェロ部門入選。第1回斎藤秀雄メモリアル基金賞受賞。サイトウキネンオーケストラ、ラ・ストラヴァガンツァ東京のメンバー。チェロを松波恵子、イヴァン・シフォロー、堤剛の各氏に師事。



佐藤勝重 [Pf]
桐朋女子高等学校音楽科を首席で卒業後渡仏。パリ国立高等音楽院を1等賞、エコール・ノルマル音楽院を賞賛つき満場一致で卒業。ソフィア国際ピアノコンクールをはじめ国内外のコンクールに優勝。2004年帰国。現在、桐朋学園音楽大学、昭和音楽大学非常勤講師。



林 俊昭 [Vc]
桐朋学園高校、ボストン大学を経て、サンタチェチリア音楽院を卒業。青木十良、P.フルニエ、A.ヤニグロの各氏に師事。デュオハヤシとして数々の国際コンクールに優勝・入賞。大阪フィル首席、東京芸術大学講師などを経て、現在徳島文理大学教授、名古屋音楽大学特別講師、紀尾井シンフォニエッタ東京、サワ・カルテットのメンバー。



写真 | 大森道治

林 由香子 [Pf]
桐朋学園高校、同大学卒業後、1977年に渡欧。G.アゴ스티氏、B.カニーノ氏に師事。80年、サンタチェチリア音楽院を卒業後、チェリストの夫君、林俊昭氏とデュオハヤシを結成シタリアを中心に活躍。87年に帰国後は、デュオハヤシリサイタル、海外演奏旅行、室内楽演奏会やセミナーなどで活躍。



向山佳絵子 [Vc]
東京芸術大学を経て独リューベック国立音楽大学に留学。松波恵子、堀江泰氏、R.フラショー、毛利伯郎、D.ゲリンガスの各氏に師事。第54回日本音楽コンクール第1位、第10回ガスパール・カサド国際チェロコンクール第1位、第3回アリオン賞審査委員奨励賞、第2回出光音楽賞の各賞を受賞。現在、武蔵野音楽大学非常勤講師。



林 絵里 [Pf]
桐朋女子高校、桐朋学園大学卒業。ピアノを樋口恵子、弘中孝、故中島和彦の各氏に、室内楽をW.ノータス氏に師事。第31回全日本学生音楽コンクール東日本大会奨励賞。第8回チャイコフスキー国際音楽コンクールチェロ部門、最優秀伴奏者賞。1986年より日本国際音楽コンクール公式ピアニスト。現在、桐朋学園大学音楽学部囀託演奏員。



ルイス・クラレット [Vc]
9歳で音楽教育を受け始め、リセウの音楽院を優等で卒業し、P.カザルスの弟のE.カザルスから音楽教育を受ける。また、M.ジャンドロンから教を受けた。ポローニャ、カザルス、ロストロポーヴィチの各国際コンクールに優勝。室内楽ではバルセロナ・トリオ(1981~1993)の創立メンバーとして活躍。また、国際コンクール(ロストロポーヴィチ/パリ、レナード・ローズ/ワシントン、パウロ/ヘルシンキ、トラバーニ/シチリア)の審査員として定期的に参加するほか、数多くの音楽学校や音楽院で指導にあたっている。レパートリーはバハから現代音楽まで多岐にわたり、特に現代作曲家(デュティユー、ルツワフスキ、ブーレーズ、クセナキス等)から多くの作品を献呈され、初演を行っている。



幸田有哉 [Vc]
5才よりチェロを始める。桐朋女子高等学校音楽科(共学)を経て、ドイツ・アウグスブルク音楽大学、ベルリン芸術大学及び同大学院卒業。10回イタリア・アルジェント国際コンクール第2位入賞。サイトウキネン「若い人のための室内楽勉強会」、小澤征爾音楽塾などに参加。ドイツ・ディプロム及びドイツ国家演奏家資格取得。2009年、日本に帰国。2010年から名古屋フィルハーモニー交響楽団チェロ奏者。



写真 | サントリーホール提供

チケット料金

日付	演目	一般前売	一般当日	会員	学生
2月11日[土]	リレー・コンサート I	¥4,500	¥5,000	¥4,000	¥3,000
	リレー・コンサート II	¥4,500	¥5,000	¥4,000	¥3,000
2月12日[日]	チェリストの集い	[聴講] ¥3,000		[聴講] ¥2,000	[聴講] ¥1,500

演目	一般	会員	学生
リレー・コンサート I&II 通し券	¥8,000	¥7,000	¥5,000

チケット発売日

2011年12月1日[木]

チケット取り扱い

前売 2月6日[月]まで

チケットぴあ | tel.0570-02-9999 Pコード155-296

サントリーホールチケットセンター | tel.03-3584-9999

日本チェロ協会事務局 | tel.03-3505-1991

お問合せ

日本チェロ協会事務局

tel.03-3505-1991 fax.03-3505-1007

E-mail. info@cello-congress.com web. http://cello.congress.com

日本チェロ協会概要

日本チェロ協会 (Japan Cello Society) は、プロ、アマを問わず広く一般のチェロ愛好家を会員とし、チェリストの親睦を図るとともに、チェロの楽器としての発展性を探ることを目的として1997年11月に設立されました。

チェロ・サロンやマスタークラスの企画や、ホームページや会報「JCS NEWS」を通じて、チェロ関連イベントや会員出演コンサートなどの情報を発信するとともに、次代を担う若いチェリストの育成に協力し、海外のチェリスト、チェロ協会との交流も推進しています。

会場

サントリーホール ブルーローズ

〒107-8403 東京都港区赤坂1-13-1 tel.03-3505-1001

アクセス

東京メトロ [南北線] 六本木一丁目駅(3番出口) 徒歩約5分

[銀座線・南北線] 溜池山王駅(13番出口) 徒歩7-10分

バス 都営01系統バス(渋谷～新橋) 赤坂アークヒルズ前下車



日本チェロ協会入会のご案内

日本チェロ協会入会に当たって、特に入会資格はありませんが、会員区分として以下のカテゴリーを設けています。

- 1 正会員 | 2以下の範疇に入らない一般個人。総会の議決に参加する権利があります。
- 2 学生会員 | 学生の方(学校の種別は問いません。申込みの際に学生証のコピーを添えて下さい)
- 3 賛助会員 | 会の趣旨に賛同し、援助を目的に賛助会費を納めた個人、団体。
- 4 名誉会員 | 広く内外を問わず、長年チェロ界の発展に寄与し、その業績を顕彰するに値すると認められた個人、団体。

入会金および年会費(年度4月～3月)

入会金 | 一律 1,000円 正会員会費 | 年間 6,000円(各年度初めから1年間)
学生会員 | 年間 3,000円 賛助会員 | 個人 10,000円以上
団体・法人 20,000円以上

●入会についての詳細およびお問い合わせ先
日本チェロ協会事務局
tel. 03-3505-1991 http://www.cello.gr.jp/